

神戸市ドコモ見守りサービス（実証実験）



神戸市と株式会社NTTドコモは「神戸市ドコモ見守りサービス（実証実験）」を平成28年9月15日より実施しています。タオソフトウェアは、NTTドコモより受託開発を受け、スマートフォンアプリ、サーバの設計、開発を担当しております。

タオソフトウェアでは、引き続きBLEタグ、物の位置情報検出等、IOTサービスの開発に取り組んでいきます。

ドコモ見守りサービスとは

BLE（低電力Bluetooth）タグをもった子どもが、検知ポイントとなる定点設置の受信機や、市内の本実証事業協力が保有するスマートフォンの近くを通過する際、位置情報がサーバに通知され、子どもの見守りが可能となります。本実証事業では、小学校、福祉施設、公共施設、阪神電鉄・阪急電鉄や市営地下鉄駅等の公共交通機関に検知ポイントを定点設置するだけでなく、事業者の協力のもと、店舗や営業所等に定点検知器を設置するとともに、従業員の保有するスマートフォンも動点検知ポイントとして活用します。さらに、地域住民向けに「見守り応援隊アプリ」を提供し、アプリがダウンロードされたスマートフォンも動点検知ポイントとして活用することにより、広域での検出ネットワークを形成し、発見精度の高い見守りを実現します。

参考

[神戸市ドコモ見守りサービス（実証事業）の開始](https://www.nttdocomo.co.jp/info/news_release/notice/2016/09/15_00.html)

https://www.nttdocomo.co.jp/info/news_release/notice/2016/09/15_00.html